

# 未成年『模擬』参議院議員選挙2007 実施報告

.....



模擬選挙推進ネットワーク

<http://www.mogisenkyo.com>

# 目次

- ・実施概要 3P
- ・集計概要 4P
- ・投票結果 5P
- ・実施学校 6P-7P
  
- ・政党別投票理由 8P-10P
- ・未成年の感想 11P
- ・未成年から政治家への意見 12P
- ・実施校の先生の感想 13P-14P
  
- ・今回の特徴 15P
- ・総括、今後の課題 16P
- ・主催、問合せ先 17P



△街頭投票@徳島

# 実施概要

## 実施時期(投票受付期間)

- ・ 2007年7月13日(金)午前8時30分から  
7月29日(日)午後8時まで

## 対象

- ・ 2007年7月29日現在19歳以下の方

## 投票方法

- ・ 学校：全国から40校が参加  
内訳＝中学校：13校 高等学校：26校  
日本人学校：1校  
※中高一貫校など「中等部・高等部」がある学校は、  
中等部、高等部別に計算
- 今回初めて模擬選挙を実施した学校＝12校
- 北海道～九州・沖縄までの13都道府県で実施
- 過去の国政選挙の実施学校数  
総選挙(2003年)実施校＝7校  
参院選(2004年)実施校＝21校  
総選挙(2005年)実施校＝42校
- ・ 地域、Webでの投票  
地域：全国5ヶ所(松戸、多摩、長野、和歌山、徳島)  
Web：Webで全国から投票を受付



△学校投票@芝浦工大柏中学高校



△街頭投票@和歌山

# 集計概要

投票総数 8215票

- 総選挙(2003年)＝約2100票
- 参院選(2004年)＝約4800票
- 総選挙(2005年)＝約6800票

投票方法	人数
学校投票	6,892
地域での投票	1,249
Web投票	74
総計	8,215

比例区の有効投票数 7177票

※選挙区のみでの投票、候補者・政党以外への投票、白紙投票などを除外した票数

## 投票者の年齢分布

自由記入のアンケート欄に学年、年齢を聞く項目を設け、集計を行った。右の表参照。

- ①学校での票は学年ごとに集計。
- ②地域・Webでの票は年齢の項に集計。

※アンケート欄のない投票用紙を用いている箇所に関しては、

- ①学校の表においては「学年不明」の欄
- ②地域・Webの表においては「記載なし」の欄にそれぞれ分類した。

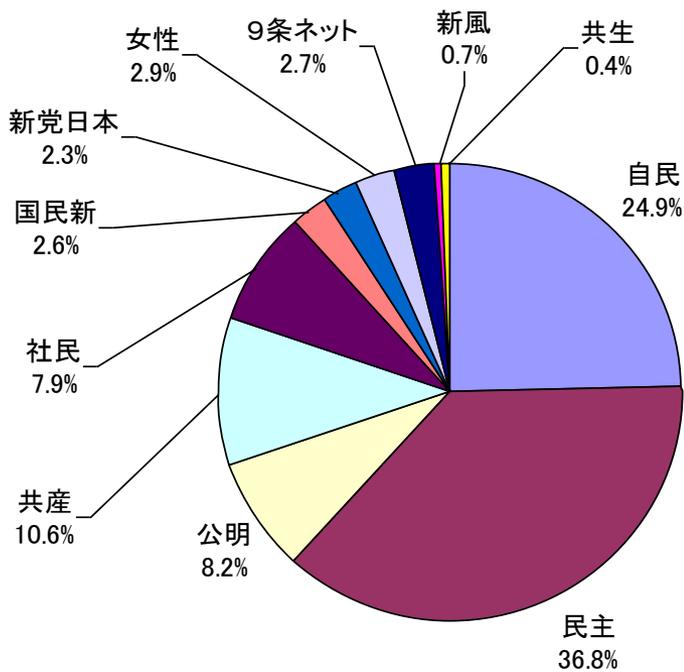
学年	人数
中学1年	371
中学2年	293
中学3年	975
中学(学年不明)	629
高校1年	1,540
高校2年	1,317
高校3年	1,264
高校生(学年不明)	329
中高生(学年不明)	174
	6,892

年齢	人数
3歳	1
4歳	2
5歳	2
6歳	2
7歳	3
8歳	10
9歳	12
10歳	14
11歳	26
12歳	119
13歳	139
14歳	146
15歳	157
16歳	106
17歳	202
18歳	96
19歳	18
記載なし	268
	1,323

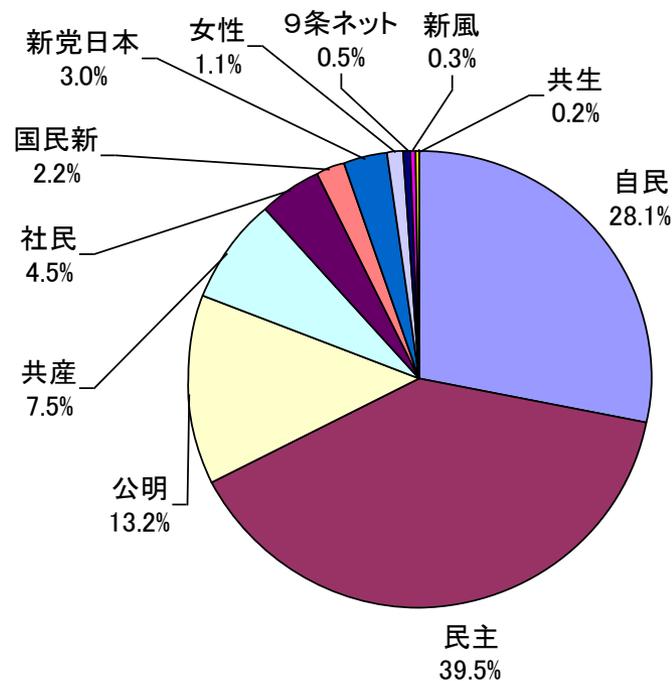
# 投票結果

未成年「模擬」参議院議員選挙2007

## 未成年の投票傾向



## 実際の選挙の投票傾向



		自民	民主	公明	共産	社民	国民	日本	女性	9条	新風	共生	合計
未成年 模擬選挙	票数	1780	2640	585	761	565	189	168	207	196	50	32	7177
	%	24.9%	36.8%	8.2%	10.6%	7.9%	2.6%	2.3%	2.9%	2.7%	0.7%	0.4%	100%
実際の 選挙	票数	16544696	23256242	7762324	4407937	2637716	1269220	1770697	673591	273755	170515	146986	58913679
	%	28.1%	39.5%	13.2%	7.5%	4.5%	2.2%	3.0%	1.1%	0.5%	0.3%	0.2%	100%

# 模擬選挙実施学校

## ◆校名公表可能な学校の一覧(順不同)

### 《北海道》

- ・帯広北高校:小論文の授業で実施
- ・札幌龍谷学園高校:現代社会の授業で実施

### 《埼玉県》

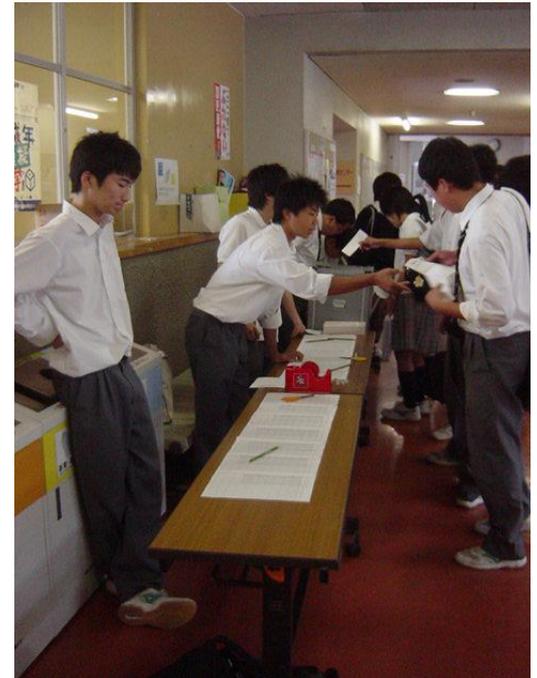
- ・県立浦和西高校:選択政治経済履修者を対象に実施

### 《東京都》

- ・足立区立足立第8中学校:社会科の授業で実施
- ・東京都立北園高校:政治経済、現代社会の授業で実施
- ・東京都立狛江高校:全校生徒に投票を呼びかけ
- ・東京都立戸山高校:高校1年生に投票を呼びかけ
- ・東京都立武蔵高校:全校生徒に投票を呼びかけ
- ・郁文館夢学園:全校生徒に投票を呼びかけ
- ・玉川学園:中3～高3の社会・政治経済の授業で実施
- ・富士見中学高校:中3、高2を対象に投票を呼びかけ

### 《千葉県》

- ・芝浦工大柏中学高校:全校生徒に投票を呼びかけ



# 模擬選挙実施学校

## 《神奈川県》

- ・法政大学女子高校:3学年政治経済受講者に投票を呼びかけ

## 《長野県》

- ・長野県松本筑摩高校:世界史、日本史の授業内で実施

## 《静岡県》

- ・常葉学園高校:「人間文化コース」を選択している1～3年生が投票

## 《京都府》

- ・立命館宇治中学高校:全校生徒に投票を呼びかけ。高2政治経済選択者は授業で投票

## 《大阪府》

- ・大阪桐蔭中学校:中3が投票

## 《兵庫県》

- ・県立尼崎小田高校:3年生4クラスで実施
- ・県立三木高校:高3の2クラスで実施
- ・神戸市立六甲アイランド高等学校:高2政治経済、高3公民科目研究の授業で実施

## 《島根県》

- ・県立川本高等学校:全校生徒に投票を呼びかけ

# 各政党別の投票理由(抜粋)

## 自民党・民主党

以下は各党への投票理由の抜粋です。

各党に共通する投票理由として、「新聞・マニフェストを見て決めた」「自分の意見に一番近かったから」という意見が多く見られました

### 《自由民主党》

- ・改革を止めないでほしい
- ・年金問題に力を入れてほしい
- ・社会保険庁を廃止するのはこの党だけだから。
- ・どこの政党よりも教育を積極的にやろうとしていたから。
- ・マニフェストを守れる
- ・最近問題が多いが、大丈夫だ
- ・他の政党があまり頼もしくない(かといって自民が頼もしいわけではないが)

### 《民主党》

- ・政権交代してほしいから
- ・年金手帳を配るのがいいから
- ・生活を考えているから
- ・年金に関しての保障がしっかりしていると感じたから。次世代育成の2万6千円が助かると思う。少子化対策にも良いのではないかと思ったから。
- ・産科や小児科など、医師が足りないことへの対策をかがげており、天下りのあっせんを全面的に廃止することも目標にしているから。
- ・年金問題に関しては、どこの政党も積極的だが、自民は、憲法改正、集団的自衛権など、軍事的な面に力が入っている気がする。その点民主は、アジア外交、自衛隊の撤退など、平和主義に意欲的に感じられる。又、安倍総理のあいまいな発言に、不信感がある。
- ・民主党に期待したいと思ったからです。もはや、自民党にはあまり説得力がないと思いました。



△「10代による政党本部探検ツアー」の様子

# 各政党別の投票理由(抜粋)

公明党・共産党・社民党

## 《公明党》

- ・年金、地域の安全を考えている
- ・子ども達のことを考えている
- ・創価学会に入っているから
- ・自民党の独走を防ぐため
- ・増税・憲法九条改正反対の為

## 《共産党》

- ・憲法第9条を守ってほしい
- ・野党としての地位を主張
- ・米軍の駐在が反対
- ・増税反対
- ・マニフェスト(派遣を正社員へ)

## 《社民党》

- ・憲法九条改正反対
- ・環境、憲法、年金の記述を評価
- ・ドクターヘリ、パーク&ライト、公務員の労働三権を明記
- ・増税反対
- ・累進課税制度を進めると明記



△「10代による政党本部探検ツアー」の様子

# 各政党別の投票理由(抜粋)

国民新党・新党日本・女性党・9条ネット・維新政党新風・共生新党

## 《国民新党》

- ・一番エネルギーを感じた
- ・9条と前文の固持を明記
- ・「抵抗勢力」が抵抗を受ける側になったときの期待感

## 《新党日本》

- ・田中党首がいいから
- ・田中氏への好悪はさておき、長野県知事時代の政策を評価
- ・内容がわかりやすく、他よりも嘘くさくない

## 《女性党》

- ・女性に頑張ってもらいたい
- ・今の社会は女性にかかっているから

## 《9条ネット》

- ・9条を守るべきだから
- ・戦争をしてほしくないから

## 《維新政党新風》

- ・新しく熱意があるから

## 《共生新党》

- ・変えてくれそう



△「10代による政党本部探検ツアー」の様子

# 投票しての感想(抜粋)

- ・結構楽しかった。でも結構悩んだ。
- ・選ぶのが難しかった(東京都、13歳、女性)
- ・将来、実際に選挙に参加するから、練習みたいになった！(千葉県、13歳、女性)
- ・政治についてこんなに考えたのは初めてかもしれない。(神奈川県、12歳、男性)
- ・こんなに政党があるなんて知らなかった。もっと勉強してまたやってみたい。(高校1年)
- ・普段から政治に関心をもって暮らしていないと、選挙に参加してもよくわからないまま投票することになってしまうと思った。(高校1年)
- ・私の一票で日本の政策が決まると思うと、しっかり情報を得て考えて投票したいです。(高校3年)
- ・2年前にやった時よりも関心がもてるようになりました。(高校3年)
- ・清々しい感じがした。
- ・大人の階段登った気分
- ・意外に簡単なんだなあ、と思いました。
- ・この投票の結果が本当に使われたらいいと思う。
- ・本当の選挙に早く参加したい(群馬県、17歳、女性)
- ・未成年の声もきくというのはとてもいいことだと思います。(高3 女子)
- ・自分が選んだ人が選ばれるか気になる。(東京都、12歳、男性)
- ・今まであまり選挙があるたびにニュースなどをやっても関心がなかったけど今回はよくニュースを見れた。
- ・何も知らない自分が……(汗)(東京都、17歳、男性)
- ・未成年でも出来るんだから、大人にだって出来ないわけないんだから、ちゃんと投票に行ってほしいと思う。今の日本がだめなのは政治家のせいではなく、そういう関心をもたないだめな大人のせいじゃないんですか？(高2 女子)
- ・模擬投票をするのはいいと思う。でも実際の投票は二十歳からでいいと思った。(中学生)
- ・今までのままで選挙は何もわかってないのにしたら意味ないと思ったけど、今回マニフェストを各党の調べて、これやったら選挙したいと思った。(高2 女子)
- ・カッコいいと思ったし、とても大切なことだと思ったから有権者になったら真面目に投票しようと思った。
- ・あまり選挙に興味が無かったけど、少し関心を持つようになった
- ・今まで選挙は自分にとってかたかかわりがないこととっていたが、この模擬選挙を通して自分も一員であり未来を考える者として1票が国を左右することが分かった
- ・実際、未成年が選挙に関心を持つのは少ないので、いい機会だと思うので、もっと行うべき

# 政治家に言いたいこと、期待・希望すること(抜粋)

今回参加のうち、いくつかの学校・地域で、政治家に対して言いたいこと、期待・希望することを聞きました。以下は数が多かった意見から抜粋したものです。

- ・年金について安心させてほしい。
- ・私たちが年寄りになった時、年金はありますか？
- ・税金を少なく。政治家の給料を少なく
- ・税金を無駄遣いしないで欲しい
- ・もっと環境問題に取り組んで欲しい
- ・憲法を正しく改正してほしい
- ・憲法9条は絶対に守ってください！！
- ・戦争だけはしないで、平和にしてください
- ・言ったこと(公約など)はきちんとやってほしい。
- ・政治家は日本の将来を担う存在として重要な存在なのでマニフェストを守り通して頑張ってもらいたいと思います。
- ・よりよい日本・政治をしてほしい
- ・もっと国民のことを考えてほしい
- ・国民の意見に耳を傾けてほしい。
- ・自分の利益より国民の利益を考えて欲しい。
- ・お金を大切に。今の子供はみんな政治家を嫌ってます。好かれる政治家になりましょう。国会でおとなげないことをするのは、やめましょう。
- ・もっと責任感を持ってほしいです。議会中に寝るのは、投票してくれた人に対して失礼だと思います。
- ・もっとしっかりしてほしい
- ・真面目にやってください。
- ・無責任な行動・発言を控えてください。
- ・お疲れ様です。僕たちのためにがんばってほしい。
- ・がんばってください

このほか、教育や財政問題など、多くの声が寄せられました。詳細は別紙を参照ください。

# 実施された学校関係者からのコメント(抜粋/順不同)

- ・「呼びかけた対象は、中3(公民的分野学習中)と高1(現代社会学習中)ですが、2年前に衆議院議員総選挙で実施したこともあり、高2も進んで投票に参加していました。」
- ・「争点については、年金にとどまることなく、憲法・外交・政治姿勢・消費税・対米・アジア外交など、高校生らしい健全な問題意識が感じられ頼もしく思った。」
- ・「今回は、校内の選挙管理委員会にさまざまな作業に携わってもらえたことが収穫でした。繰り返し模擬選挙を行うことで、生徒達の中から、さらに自主的な活動が生まれてくることを期待しています。」
- ・「デパートやショッピングセンター、駅などで本物と同様な方法でやった方が、より真剣に意思決定ができていいと思います。」
- ・「模擬選挙を初めて実施してみたの感想ですが、市民教育の観点からその可能性を強く感じました。生徒たち(特に中学生)にとってはわかりにくい選挙の制度も体験を通じて理解することができますし、やはり実際の候補者を比較し一人に絞って投票するという行為は政治を身近に感じるきっかけとなります。」
- ・「在外ということもあってともすると日本の出来事や特に政治については遠い場所のことで自分たちには関係の薄いことのようにとらえがちですが、こうした状況にいる在外だからこそ、こういう模擬選挙の学習が必要だと思います。」  
(海外、日本人学校教員)
- ・私はこれで模擬投票3回目の経験です。その度に思うことは、生徒たちの取り組む姿勢は大人以上であることです。それは、第1に各政党のマニュアルをきちんと見て比較の上に投票先の選択をしていること、第2に本質的な問題意識を持っていることです。後者について、今回の参議院選では「年金問題」がクローズアップしましたが、生徒の多くは「格差社会」や雇用の問題に関心があったことから窺えると思います。本校の校長が模擬選挙に立ち合いましたが、校長も同様の感想を述べていました。最初はもっと適当にやるだろうとの校長の思いはよい意味で裏切られたわけです。次いで思うことは、本校では終業式の日を実施しましたが、本番29日投票結果を先取りしていました。前回の05総選挙では、自民党に最も多く投票されたことを考えますと、生徒たちの動きは実は世相を反映していることがわかります。
- これらのことから私自身、選挙権は18才に下げることがかなり現実的なことと思っています。国民投票法施行を待たずして、18才からは大人であることの法的整備をお願いしたい次第です。

# 実施された学校関係者からのコメント(抜粋/順不同)

・いつも感じることだが、大人よりはるかに真剣に考えている。

選挙というのは、政治学習の総括でもあるが、出発点でもある。難しさを感じ、どういう基準で選ぶべきか、考えるだけでも十分な効果というべきだろう。

都立北園高校 若菜俊文

模擬選挙を実施した感想 島根県立川本高等学校 竹崎修次

今回は1学期期末試験終了後から事前学習を開始したため、時間的に余裕がなく、多いクラスで4時間、少ないクラスで2時間しか授業時間がとれなかった。従って、事前学習の内容もポイントを絞らざるを得なかったが、選挙制度のしくみや各党のマニフェストなど、概略ではあるが程度理解させることができたのではないかと思う。マニフェスト比較は、地元紙に掲載された各党マニフェストの要旨を使って、その内容をまとめさせたが、「年金問題」では各党のカラーがあまりでないと考え、「憲法改正」「格差是正」「外交・安保」に限定してまとめさせた。また、選挙区候補者の横顔は、地元紙に掲載された候補者の第一声要旨を使ってまとめさせた。当初は模擬選挙についてあまり興味を示さなかった生徒もまとめが進むにつれて、真剣さを増してくるよう思われた。

投票は私の当初の予想(島根県は毎回国政選挙で全国1位の70%を越える投票率であるが、それを越えれば良しと考えていた)を大幅に上回り、投票率は95.6%で、当日欠席者を除けばほぼ100%の投票率であった。投票所の受付には長蛇の列ができ、本校生徒の関心の高さをうかがわせた。ふざけ半分に投票を行う者もなく、大半の生徒が事前学習を通して考えた意中の候補者(政党)に真剣かつ楽しそうに投票していた。実際の投開票の翌日、真っ先に私のところに来て、選挙結果についての感想や自分なりの分析を試みる者もいて、模擬投票の効果は絶大であった。

投票に向かう彼らの姿を見ると、数年後の実際の投票時には、今回の模擬選挙のことを思い出しながら投票所に足を運んでくれるのではないか、という期待感すら抱くことができた。学校で学習したことが実際に将来の行動として結びつくかどうか、ということが我々教育活動に携わる者にとっては常に問われるところであるが、この模擬選挙はまさにそのような問いに対する答えではないかと思えた。また、マニフェストを比較することで、現在の我が国が抱える諸問題をその表層部分だけでも理解させることができたのではないかと思う。今後、その深層部分まで目を向けてくれる生徒が多く現れることを期待したい。教科書をなぞるだけでは実感として伝わらない知識や態度を、模擬選挙という体験学習を通して身につけさせることができたのではないかと思う。

# 今回の特徴

## 1：選挙日程による影響

- ・学校での実施において選挙日程の影響を多大に受けた。授業が既に終わっている・テスト中である・既に夏休みに入ってしまった等、取り組みたくても取り組めない状況があり、実施を見送った学校が多数あった。  
また、実施した学校でも十分な時間が割けなかったという声が多数寄せられた。

## 2：学校での実施の拡大

- ・上記のように学校での取り組みが困難な中であつたが、それでも新規に実施する学校が増え、前回とほぼ同数の学校の参加となった。票数も前回より増えている。
- ・特定の教科を選択した生徒を対象に実施するのではなく全校生徒を対象に実施する学校が増えており、学校内での認知が高まり、取り組みが広がっている様子がうかがえる。

## 3：実施地域の拡大

- ・2005年の総選挙以降に地方選挙で模擬選挙を実施していた地域に模擬選挙が根付き、実施する地域の拡大が見られる。票数も前回比で約二倍となった。
- ・これまでも模擬選挙に取り組んでいた青年会議所、公開討論会を実施している団体のほかに、子ども関係のNPO、大学生のグループ、アート関係のサークル等多様な実施母体に取り組むようになった。

## 4：10代による政党本部探検ツアーの実施

- ・3年前の参院選でも行った「10代による政党本部探検ツアー」を実施。政党本部を訪問し高校生と議員による意見交換などを行った。

## 5：主要政党のマニフェストおよびポスターの入手

- ・参院選に向けて作成された主要政党のマニフェストおよびポスター(比例区用)を入手し、模擬選挙を実施する連絡のあった学校に対して届けた

## 6：選挙管理委員会との連携

- ・これまでの模擬選挙に引き続き、各地の選挙管理委員会から、実際の選挙で使う投票箱・記載台の借用、選挙公報の生徒数分の提供、選挙啓発グッズの提供を受けた

# 総括、今後の課題

## 《総括》

- 1：投票内容に関して
  - ・未成年者の判断能力の未熟さを懸念する声もあるが、実際の選挙結果と比較してもほぼ同様の結果が出ている。
  - ・学校での模擬選挙の取り組みにおいては、各政党の政策の比較、マニフェストの読み比べなどを事前に行っているところが多い。街頭投票でも選挙公報を熱心に見比べた上で投票しており未来の有権者は政策を踏まえたくて投票している。
  - ・普段は選挙や政治に関心のない未来の有権者も、模擬選挙を行うことを通じて、実際の選挙結果に興味・関心を抱くようになってきていることが、感想などから読み取れる。
- 2：実施体制について
  - ・事業収入の全く無い活動であるため、学校への政党ポスター・マニフェストの提供も各学校に送料を負担していただくなど、予算的に大変苦しい実施であった。

## 《課題》

- 1：選挙日程が苦しい中での実施方法の模索。
- 2：模擬選挙の広がりが増えつつあるにつれ、実施体制を拡大する必要がある。規模に見合うだけの人手、費用、事務所などを確保する必要がある。
- 3：実施が拡大する中で模擬選挙を盛り上げるための資料やグッズをきちんと確保していくために、各政党や選挙管理委員会との連携、協働のあり方の検討が求められている。
- 4：模擬選挙を実施していることを未成年者に知ってもらうための広報手段。マスメディア等の協力を得ていく必要がある。
- 5：模擬選挙に対する理解・認知は以前に比べ広がっているが、まだ十分ではない。
- 6：一方で、当方への連絡は無いが独自に実施している学校も数多くあり、それらの学校ともネットワークを構築し、より広範なムーブメントとしていく必要がある。

# 実施体制

《主催・よびかけ・連絡先》

## 模擬選挙推進ネットワーク

〒194-0032 東京都町田市本町田939-9

電話:090-6025-9614(代表・山崎), 090-1991-7458(事務局長・林)

ファックス:042-720-8856

E-mail:y-tap@leaf.ocn.ne.jp(代表・山崎), jza04643@nifty.ne.jp(事務局長・林)

※ 模擬選挙推進ネットワークは特定の政党・宗教団体の影響下でない「公平・中立・公正」な組織です

<http://www.mogisenkyo.com/> ←「模擬選挙」で検索!